

授業概要

「子どもキャリアワークⅡ」は、「同Ⅰ」に引き続き、ボランティア先での継続した体験をとおして、保育者または教師としての資質および力量の形成、ならびに、就職に資することを目的とした授業である。

そのため、「子どもキャリアワークⅡ」は、「同Ⅰ」と同様に、保育士資格、幼稚園または小学校教員免許を取得する学生を対象として開講する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	ボランティア活動先の選定（チューターと相談）
第 3 回	ボランティア活動 1 ボランティア活動先との交渉（チューターへの報告）
第 4 回	ボランティア活動 2 各ボランティア活動先の実態調査（チューターへの報告）
第 5 回	ボランティア活動 3 各ボランティア活動先の実態把握（チューターへの報告）
第 6 回	ボランティア活動 4 各ボランティア活動先の留意点（チューターへの報告）
第 7 回	ボランティア活動 5 各ボランティア活動先の活動計画（チューターへの報告）
第 8 回	ボランティア活動 6 各ボランティア活動の目的の文章化
第 9 回	ボランティア活動 7 各ボランティア活動先への目的・計画の説明
第 10 回	ボランティア活動 8 各ボランティア活動先での活動（チューターへの報告）
第 11 回	ボランティア活動 9 活動計画についての修正
第 12 回	ボランティア活動 10 各ボランティア活動先での活動（まとめ）
第 13 回	ボランティア活動 11 各ボランティア活動の振り返り
第 14 回	ボランティア活動 12 各ボランティア活動先での活動（自己課題の認識）
第 15 回	ボランティア活動 13 ボランティア活動の振り返りと報告書作成
第 16 回	ボランティア活動成果の報告会

到達目標

保育所、幼稚園いずれかの公的機関において、60 時間以上のボランティア活動を実施できる。
 ボランティア活動の実施状況をチューターおよび授業担当教員に「子どもメール」を使用して毎週報告する。
 全ボランティア活動終了後に、成果を報告するとともに、報告書を提出することができる。

履修上の注意

「子どもキャリアワークⅡ」は学外でのボランティア活動を中心とした授業である。
 ボランティア先との交渉については各自で行い、園長または所長の許可を得ること。
 2～7・10 回の授業の報告を必ずチューターに行い、その指導を所定の用紙に記録する。
 ボランティア先からの証明がない場合には、単位を認定しない。
 履修の方法および注意点等を説明するので、第 1・2 回のガイダンス、ボランティア活動先の選定には、必ず出席すること。欠席の場合には、活動は認められない。

予習・復習

ボランティア活動の実施状況をチューターおよび授業担当教員に「子どもメール」を使用して必ず毎週報告すること。
 全てのボランティア活動の終了後に、報告会に参加して成果を報告するとともに、報告書を提出すること。

評価方法

ボランティア活動実施状況：60%
 ボランティア活動成果の報告および報告書：40%

テキスト

特定のテキストを使用しない。
 参考文献については必要に応じて適宜紹介する。
 所定の記録用紙は、適宜配布する。